

障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会

栃木ミニ学会

2007年 3月19日 (月)

2007年、日本グループホーム学会ミニ学会が栃木で初めて開催されます

グループホーム学会の運営委員、県内のグループホームを運営している人、現場で実践している人たち、これからグループホームを始めようとする人たちなどなど、一緒にグループホームの今を見つめ、今後のあり方を模索する契機としましょう！

◇日 程

12:30 受付

13:00 開会

第一部 報告「グループホーム運営実態に関する緊急実態調査報告」

宮代 隆治氏 (社会福祉法人さざんか会理事長・学会副代表)

日本グループホーム学会では、昨年4月1日より施行された自立支援法の一部実施 (利用実績払い (日払い)、利用者負担増等) がグループホーム経営にどのような影響を与えているかを明らかにするために「グループホーム運営実態に関する緊急調査」を行いました。自立支援法の一部実施時点でも、グループホーム運営に大きな影響を与えていることが明らかとなりました。このままでは、グループホームは変質してしまうおそれもあり、また、順調に増え続けてきたグループホーム新設に急ブレーキがかかるおそれもあります。この緊急調査結果について報告を行います。

14:30 休憩

14:50

第二部 シンポジウム「障害者自立支援法下のグループホーム、その課題を検証する～ホームの質は担保されたか～」

司 会 堀江まゆみ (白梅短期大学教授・学会事務局長)

シンポジスト 宮代 隆治 (社会福祉法人さざんか会理事長・学会副代表)

菊地 達美 (栃木県知的障害施設協会会長・社会福祉法人同愛会理事長)

鈴木 勇二 (栃木県知的障害者育成会副会長)

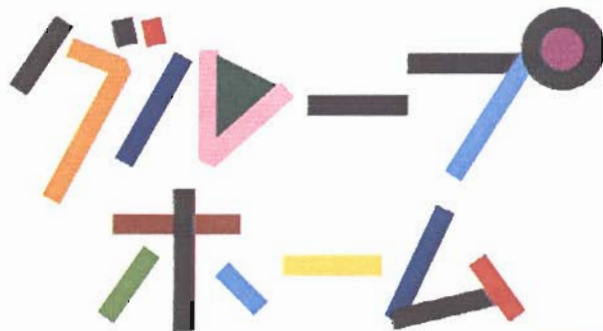
障害者自立支援法施行により、否応なしでグループホームの再編成が為されました。障害程度区分や報酬単価の問題、ホームの規模の問題、サービス管理責任者や世話人及び生活支援員の役割や入居者との係わりなどなど、以前とは変化したものもあるのではないのでしょうか。何より気になるのが、ホームの支援の質と量とがきちんとひとり一人の入居者に届いているのか。私たちが目指してきた、地域生活像が形あるものになっているのか、気になるところです。

この法律への取り組みやその後の動向などを検証し、あるべきホーム像を考えてみたいと思います。

17:00 終了

18:00 交流会

場所を移し、飲食をともにしながら話し足りなかったこと、聞き洩らしてしまったこと、質問できなかったことなど場所を移して意見交換しませんか。もちろん参加は自由ですし、会費制で実施します。



障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会

世話人研修会

2007年 3月20日(火)

グループホーム学会が世話人研修を行います。援助のあり方を点検しながら、日頃の悩みや不安を語り合い、グループホームでのよりよい援助をめざしませんか。

9:30～受付

10:00～12:00

第一部 「グループホームの援助の基本」とワークショップ

講師 宮代 隆治氏 (社会福祉法人さざんか会理事長・学会副代表)

グループホームって何？グループホームで大切にしなければならないこと、グループホームでの援助の基本についてなど一緒に考えてみませんか。

また、援助のあり方について具体的な事例を参考にワークショップを展開します。

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30

第二部「地域にセーフティネットを作ろう」

講師 堀江まゆみ氏 (白梅短期大学教授・学会事務局長)

地域で暮らすということは、一般市民と同じようなトラブルに遭遇するリスクがあるということでもあります。消費者トラブル、性的トラブル、あるいは不審者に間違われるなどの出来事に巻き込まれたとき、支援者としてどのように対応すればいいでしょう。できるだけ早くに気づき被害が少なく済む対応とは何でしょう。トラブルが起きていない今から、地域の安全のキーパーソンと事前的・予防的に連携を取り合い、被害にあったら早期に救済できるシステムを作っておくことが大事になります。このような地域に安全のネットを作るための活動についてみんなで考えていきましょう。

主催 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会

会場 栃木福祉プラザ 〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1丁目10番6号

参加対象 グループホーム世話人、生活支援員、サービス管理責任者などスタッフ(80名)

参加費 無料

参加申込について

(1) 別紙に必須事項をご記入のうえ、下記連絡先までFaxにてお申込下さい。

(2) 申込締切日 平成19年3月15日(木)

※申込者多数の場合は、受付順に定員となり次第締め切らせていただきます。

その他 車いす・手話等への対応についてご要望のある方は、事前に下記連絡先までご連絡下さい。

連絡先 Tel 0282-86-0059 Fax 0282-86-3223
社会福祉法人せせらぎ会 松野 直之宛

グループホーム学会とは・・・

障害があってもなくても、自分らしく生きたいと誰もが願っています。誰かに支えられて、誰もが生きています。

誰が援助する人で、誰が援助される人なのでしょう。

また、自立するってどんなことなのでしょう。障害のある人の「グループホーム」をキーワードにして、みんなで考えていきたい。

そんな思いが集まって「日本グループホーム学会」は産声を上げました。

障害のある人の応援団を全国に広げながら、私達一人ひとりの「暮らし」を考え、研究する場にしたいと思います。

障害のある人、本人をいつも中心に見つめる目をもちながら、実践に始まり実践に帰る研究をともにしませんか？

活動目的

- 1) 質の高い援助を提供するグループホームを全国各地に確実に増やす。
- 2) グループホーム間の情報交換や支援に関する研究を進める
- 3) 現在あるグループホームを支援する仕組みをつくり、運営の不安定さを改善していく。
- 4) 国や自治体に対して、現場からの政策提言や意見を発信する。
- 5) 社会に対して、障害者の地域生活を理解してもらうための情報を発信する。

活動内容

- 1) 「季刊グループホーム」の発行
- 2) グループホーム研究大会（年に1回）の開催
- 3) 議会や行政に対する政策提言、メディアを通じた社会的アピール
- 4) メールリストによる情報交換、現場スタッフ（世話人）や運営者対象の研修や相談業務

参加申し込み欄（不足の場合はコピーしてお使いください）

	(事業所名)						
	No.	職 種	氏 名	参加箇所に○			備 考
				19日	20日	懇親会	
申し込みフォーム	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						

上の欄にご記入の上、F a x 0 2 8 2 - 8 6 - 3 2 2 3 までお送り下さい。